

平成26年度保育所 入所申込みの受付が始まります



対象 平成26年4月から新規に保育所の入所を希望する方
入所可能数：卒園、退所などで定員に空きができた人数
入所申込書の配布

＊期日：11月1日(金)から
＊場所：市内各保育所、児童課
保育係、五日市出張所
入所申込み受付
＊期間(第1回目募集)：11月25日(月)～12月13日(金)
第2回目以降の募集は、しおりに記載してあります。
＊時間：午前8時30分～午後5時(12月11日(水)は児童課のみ)

午後8時まで受付)
＊場所：児童課保育係、五日市出張所

入所要件：保護者のいずれもが次の要件に該当し、同居の親族(世帯分離・二世帯住宅・同一敷地内を含む)などが保育できない方

＊外勤の方、自営業の方、内職をしていての方、出産、病気で入院や家庭療養をしていての方、親族の看護、介護をしている方

その他 現在保育所に入所中で4月以降も継続入所を希望する方は、次のものが必要です。

平成26年度家庭状況調査書：12月上旬に保育所から配布されます。源泉徴収票提出者は平成26年2月3日(月)までに、確定申告書提出者は3月3日(月)までに提出してください。

市外の保育所に入所している方は、10月中旬に「平成26年度家庭状況調査書」を送付しますので、11月29日(金)までに、税関係書類以外の書類を提出してください。

入所の要件がなくなった方は、年度途中でも退所となります。平成26年5月以降の申込みは平成26年4月1日(火)からです。申込み・問合せ 児童課保育係

放課後子ども教室を五日市小学校で開設します(愛称はカエルっ子クラブです)

「放課後子ども教室」とは、学校の施設などを利用して、地域の方などに協力をいただきながら、安全で安心できる放課後の活動場所を提供する事業です。既設の3校に加え、新たに五日市小学校にも開設します。開設日 10月9日(水) 活動日は毎週水曜日の放課後

から午後4時までです。参加には学校で配布した申込書による登録が必要です。活動場所 五日市小学校の体育館や校庭など
活動内容 学年の異なる友だちの中で、自由遊びを中心に宿題や工作などをしたり、自由に過ごします。スタンプは遊びや学びの手助けをしながらい子どもたちを見守ります。見守りボランティア募集中！子どもたちが安全に遊べるように見守ったり、昔遊びや手芸、将棋などを教えてくださる方を募集しています。



ジェネリック医薬品の 差額通知を発送します



市では国民健康保険に加入の方に「ジェネリック医薬品差額通知書」を随時お送りしています。この通知書は、現在、処方されている新薬(先発医薬品)をジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合に、薬の自己負担額がどのくらい軽減

できるかをお知らせするものです。今回の通知書は、平成25年7月分の薬代を基に計算し、切り替えた場合に、自己負担額が100円以上軽減される可能性のある方にお送りします。

薬の種類による絞り込みにより該当にならない場合もあります。11月上旬の送付を予定しています。

ジェネリック医薬品とは、新薬と同じ有効成分で効能・効果の等しい医療用の医薬品です。新薬の特許期間(20～25年)が切れた後に、厚生労働大臣の承認のもとに新たに他社から製造販売されたものです。ジェネリック医薬品に切り替えることにより、自己負担額を軽減するとともに、国

民健康保険財政の健全化を図ることを目的としています。切り替える際の注意事項 処方箋が必要です。必ず、医師・薬剤師にご相談ください。

種類によっては、ジェネリック医薬品が開発されていない場合があります。医師の判断により、切り替えができない場合があります。

ジェネリック医薬品希望カード ジェネリック医薬品希望カード ジェネリック医薬品希望する意思表示ができるカードがあり、市役所の窓口でも配布していますのでご利用ください。 問合せ 保険年金課国保係

介護教室(講演会) 「家庭で取り組む糖尿病 の合併症予防薬の管理 と食事の工夫」

日時 10月25日(金) 午後1時30分～3時
場所 あきる野ルピア3階産業情報研修室
内容 高齢期の糖尿病治療効果を上げるために、知っておきたい薬・食事管理のコツ
講師 薬剤師・管理栄養士
対象 市内在住・在勤の方
定員 30人(申込み順)
申込み 在宅介護支援センターあきる台(550・6101)
問合せ 高齢者支援課高齢者支援係

高齢者在宅サービスセンター事業 「脳の健康教室・脳らぼ」

高齢者在宅サービスセンターでは、通常の生きがい活動支援通所事業以外に、地域における高齢者福祉の拠点として、一般の高齢者の方々を対象に次の事業を実施します。多くの方々にとって魅力あるセンターになるよう今後もさまざまな事業を実施する予定です。どうぞご利用ください。

教室参加者募集

期間 10月～平成26年3月[週1回30分程度、月4回、全24回(予定)]
時間 午前10時～11時30分
場所・開催日 萩野センター...毎週火曜日 開戸センター...毎週水曜日 五日市センター...毎週金曜日
内容 週1回の教室で「読み書き」と「計算」の教材にチャレンジし、コミュニケーションを行うことで脳の健康づくりを図るとともに仲間づくり、社会とのつながりを深めていきます。
講師 指定の説明会・研修会を終了した教室サポーター
対象 市内在住の65歳以上の方
定員 各センター30人
持ち物 筆記用具
費用 月3千円(教材費など)

申込み方法 各センターに電話で申し込んでください。

教室サポーター募集

期間 10月～平成26年3月
時間 1日3時間から3.5時間程度
場所 萩野センター、開戸センター、五日市センター
内容 「脳の健康教室・脳らぼ」で地域の高齢者に対して学習支援を行い、同時に楽しい会話が飛び交う教室になるようお手伝いいただけます。後日実施する説明会と研修会に参加していただきます。
対象 市内在住の65歳くらいまでの方で、シニア世代から学び、自分も成長したい、地域に貢献したいと思う方
謝礼 1日千円
申込み方法 各センターに電話で申し込んでください。
申込み・問合せ 萩野センター(雨間533-1、550-2722) 開戸センター(淵上332-1、550-2755) 五日市センター(館谷台17、533-0330)



萩野センター



開戸センター



五日市センター

マールボロウ市友好 訪問団が来日します!



対象小学校：東秋留小学校、草花小学校、多西小学校、五日市小学校
申込み・問合せ 生涯学習スポーツ課生涯学習係(直通58・2438)

国際姉妹都市である米国マールボロウ市のウィットコム・スクールから生徒12人と引率者4人が、10月11日(金)に来日し、22日(火)までの間、市内に滞在します。滞在中、生徒はホームステイをしながら各市立中学校に体験入学するほか、市内や近郊の見学をするなど、さまざまな交流を通じてあきる野市民との友好・親善を深めます。生徒や引率者の方を見かけたら、ぜひ声を掛けてください。 問合せ 生涯学習スポーツ課生涯学習係

